



一財) 日欧産業協力センター ウェビナー

日欧蓄電池産業の現状と挑戦

～日欧間連携に向けて～

2050年のカーボンニュートラルの達成に向けて、蓄電池は重要なカギとなる技術であることはいうまでもありません。蓄電池は車載用のみならず、電力の需給調整やバックアップに関わる定置用、またIT機器など小型民生用としてインフラ要素となっており、市場規模も飛躍的に拡大しつつあります。

需要拡大の一方で、生産面では、資源の確保、サプライチェーンの整備・強化・ルールの整備、次世代電池の開発および人材育成・確保、リサイクル・リユースのあり方、国際連携の必要性など詰めるべき課題が山積しているのも事実です。

現在蓄電池の生産能力では、中韓が大きなシェアを占めているのはご承知のとおりですが、これを打破するため、欧州では2017年から官民一体となってバッテリーアライアンスを設立し、現在約500社規模の連携が実現しています。また、日本もかつての競争力を取り戻すべく、経産省が中心となって蓄電池産業戦略検討官民協議会を2021年に立ち上げるなど、官民で戦略を模索しています。

今回のウェビナーでは、こうした事業環境の中、日欧の政策当局および産業界の取り組みをパネリストの皆様からお話しいただくと同時に、日欧間の連携の可能性についても議論いただきます。

記

1. 日時：

2022年6月2日（木）16：30～18：00 東京（9：30～11：00 ブラッセル）

2. 使用言語：

英語および日本語（同時通訳付）

3. プログラム：

16：30～16：35（9：30～9：35） 開会挨拶

・MC/モデレーター：[一財\) 日欧産業協力センター](#) 専務理事 田辺 靖雄



EU-Japan Centre for Industrial Cooperation

一般財団法人 日欧産業協力センター

16 : 35~17 : 30 (9 : 35~10 : 30) プレゼンテーション (各 10 分目途)

- ・ **武尾 伸隆** [経済産業省](#) 商務情報政策局 電池産業室長
- ・ **James Copping**, Policy Adviser, [DG for Internal Market, Industry, Entrepreneurship and SMEs, European Commission](#)
- ・ **松本 昌一** [株式会社エンビジョン AESC グループ](#) CEO
- ・ **Baptiste Buet**, Director, EU Business Unit, [EIT InnoEnergy \(the European Battery Alliance\)](#)

17 : 30~18 : 00 (10 : 30~11 : 00) Q&A/ディスカッション

18 : 00 (11 : 00) 閉会

4. 参加料 :

無料

5. 参加登録 :

本ウェビナーは ZOOM で実施いたします。参加登録は下記登録リンクからお願いいたします。

[ZOOM 登録リンク](#)

6. Q & A:

ウェビナー中のご質問は、お手元の端末から Q&A 欄ご入力いただけますが、時間等との関係からお受けできない場合もございますので、予めご了承ください。なお、予めの質問もお受けいたしますので、ZOOM 参加登録の際、質問/コメント欄にご記入ください。

以上